

# 中小向けIoTソフト

## 部品測定 工具管理 KMC、低価格で提供

【川崎】KMC(川崎市高津区、佐藤声喜社長)は、中小製造業の現場IoT(モノのインターネット)を支える低価格のソフトウェアを商品化した。部品測定電子カルテと工具管理の二つで、中小にも広く求められる品質管理のデジタル化に対応。人手不足の中、工数の削減にも寄与する。両ソフトともに機能を絞った独自の標準版。2024年にそれぞれ150万円の販売を目指す。

二つのソフトともに月3万9000円。一般標準タイプの消費税抜き価格は120万円、格を約3分の1に抑えサブスクリプション(定額制)導入価格は「測定電子カルテ」



は部品測定デジタル化と自動帳票化に役立つ。項目別にデジタル測定器の数値を無線で管理者のパソコンに送

付し、独自の標準版をベースに検査表を作成。特定の顧客検査表にも対応できる。加工者が作業後、確

KMCが商品化した測定IoT「測定電子カルテ」

認のため主な項目を測定した後、検査担当者であらためて測定する二度手間を省ける。工数は従来の約2分の1。デジタル化で不正の余地もなくせる。測定対象は切削部品、成形品など。測定器メーカーは問わない。

もう一つは「RQ工具管理ソフト」。工具のケースと棚、作業者それぞれに2次元コード(QRコード)を割り当て、誰がいつ、どこで、どの工具を使ったなどという履歴をクラウドで管理する。管理者が一括で管理して適正在庫を確保。工具の所在を探す時間と余分な在庫を減らせる。内外の品質規格では

手書きの検査表が受け付けられなくなりつつある。工数削減のためにもデジタル化の対応が問われ始めている。